

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成16年11月25日(2004.11.25)

【公開番号】特開2002-249631(P2002-249631A)

【公開日】平成14年9月6日(2002.9.6)

【出願番号】特願2001-48612(P2001-48612)

【国際特許分類第7版】

C 0 8 L 27/18

C 0 8 L 23/14

C 0 9 K 3/10

F 1 6 J 15/20

//(C 0 8 L 27/18

C 0 8 L 47:00 )

(C 0 8 L 23/14

C 0 8 L 47:00 )

【F I】

C 0 8 L 27/18

C 0 8 L 23/14

C 0 9 K 3/10 R

C 0 9 K 3/10 M

C 0 9 K 3/10 Z

F 1 6 J 15/20

C 0 8 L 23/14

C 0 8 L 47:00

C 0 8 L 27/18

C 0 8 L 47:00

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月2日(2003.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ゴムシール装置の補強部材と接合されるゴム組成物であって、テトラフルオロエチレン-プロピレン2元共重合体100重量部に対し、液状ポリブタジエンを0.02~10重量部含有することを特徴とするゴム組成物。

【請求項2】

液状ポリブタジエンが、数平均分子量で1000~5000であることを特徴とする請求項1記載のゴム組成物。

【請求項3】

液状ポリブタジエンが、構造中に水酸基またはカルボキシル基を有することを特徴とする請求項1または2記載のゴム組成物。

【請求項4】

補強部材と、ゴム組成物とを接合してなるゴムシール装置において、前記ゴム組成物がテトラフルオロエチレン-プロピレン2元共重合体100重量部に対し、液状ポリブタジエンを0.02~10重量部含有することを特徴とするゴムシール装置。

**【請求項 5】**

液状ポリブタジエンが、数平均分子量で 1 0 0 0 ~ 5 0 0 0 であることを特徴とする請求項 4 記載のゴムシール装置。

**【請求項 6】**

液状ポリブタジエンが、構造中に水酸基またはカルボキシル基を有することを特徴とする請求項 4 または 5 記載のゴムシール装置。

**【請求項 7】**

軸用オイルシール、ウォータポンプ用転がり軸受、ボールねじまたはリニアガイド装置のシール部に組み込まれることを特徴とする請求項 4 ~ 6 の何れか 1 項に記載のゴムシール装置。